

平成 30 年度・令和元年度
鹿児島県租税教育研究委嘱校

租税教育の実際



伊佐市立菱刈中学校

目 次

| | | |
|-----|----------------------|-----|
| 1 | 校区と学校の概要 | 1 |
| 2 | 研究の概要 | |
| (1) | 研究主題 | 2 |
| (2) | 主題設定の理由 | 2 |
| (3) | 研究の目標 | 2 |
| (4) | 研究組織 | 2 |
| (5) | 租税教育の全体計画 | 3 |
| (6) | 研究の経過 | 4 |
| 3 | 研究の実際 | |
| (1) | 平成30年度・令和元年度租税教室について | 5 |
| (2) | 長期休業中の課題や生徒会における取組 | 1 1 |
| (3) | 人権同和教育係における取組 | 1 4 |
| (4) | 社会科での授業における取組 | 1 5 |
| 4 | 研究の成果と今後の課題 | 1 7 |
| 5 | おわりに | 1 8 |

1 校区と学校の概要

(1) 伊佐市の概要

伊佐市は、鹿児島県・宮崎県・熊本県の県境に位置する鹿児島県本土最北の市である。また、周囲を九州山地に囲まれた盆地を形成しており、平地の中央部を川内川とその支流が流れ、これらの水系を中心として広大な水田がひらけている。面積は392.56平方キロメートル（東西23km、南北27km）となっており、県内の市平均値の約1.3倍の面積となる。

人口はR1.6.1 現在、男性：11,966人

女性：13,786人、総数：25,752人、世帯：13,436世帯である。



★ 伊佐市の「い」をシンボライズしたデザイン。

「い」の左は伊佐地方を代表する伊佐米，右は伊佐米を育む清流を配して自然豊かな豊穡の地をイメージしている。



(2) 校区の概要

校区は、県北端の地、宮崎県と接する県境に位置し、周囲を九州山地の余脈に囲まれた伊佐盆地の東側にある。伊佐盆地の中央部に1kmにわたり川内川が流れ、中小7本の支流がこれに注ぎ、これらの水系を中心とした広大な水田が開けている。また、校区内には名所、旧跡も多い。産業は、広大な土地資源を利用した農・畜・林産物の生産が盛んであり、古来米作地帯として有名で県下に名高い伊佐米を産出する。また、菱刈鉦山は国内はもとより世界的にも金の含有量の高い金山として注目を集めている。寒暖の差が大きく、冬は氷点下6度前後の気温も数回記録される。

(3) 学校・生徒の実態

本校の生徒は、5つの小学校区（菱刈小、本城小、田中小、湯之尾小、南永小）から通学している。生徒数は138名(7学級)校区が広いため、8割に近い生徒が自転車通学であり、登下校の通学距離が6kmを超える生徒もいる。そのため、交通安全指導は本校の重要な課題になっている。生徒は、全体的に明朗で、概して素直である。反面、目標達成のため積極的にねばり強く取り組もうとする姿勢にややかける面があり、これらの育成に取り組んでいる。



2 研究の概要

(1) 研究主題

租税教育を通して、税制や財政についての理解を深め、納税への関心を高めるとともに、権利と義務の主体者として、社会に貢献できる生徒を育成する。

(2) 主題設定の理由

鹿児島県の租税教育は「租税に関連した事項を通して郷土について関心を高め公民としての資質を身につけ、国家及び社会における権利と義務の主体者として自主的に判断し行動するための諸能力を育成すること」をねらいとしている。

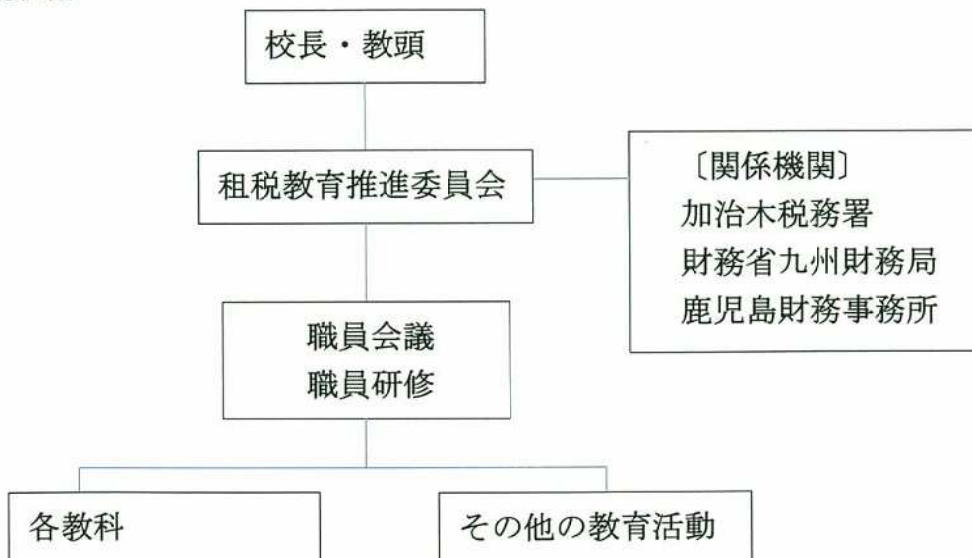
私たちが納める税金は社会資本の整備や社会保障の充実など国民の生活と福祉の向上を図るために使われ、国や地方公共団体の大切な財源となっている。私たち納税者は税金を納める義務を果たすだけでなく、税の使い道について関心を持ち国や地域のあり方について主体的に考えていくことが大切である。しかし、事前のアンケートの結果からも税への関心が低く、家庭で税について話す機会もほとんどないのが現状である。

そこで租税教育を通して本校の教師から学ぶだけでなく、様々な体験活動で税についての興味・関心を高めるとともに税に関する課題を知り、解決のための学習で税の意義や役割を確認させることで権利と義務の主体者として社会に貢献できる生徒を育てることができると考え、この主題を設定した。

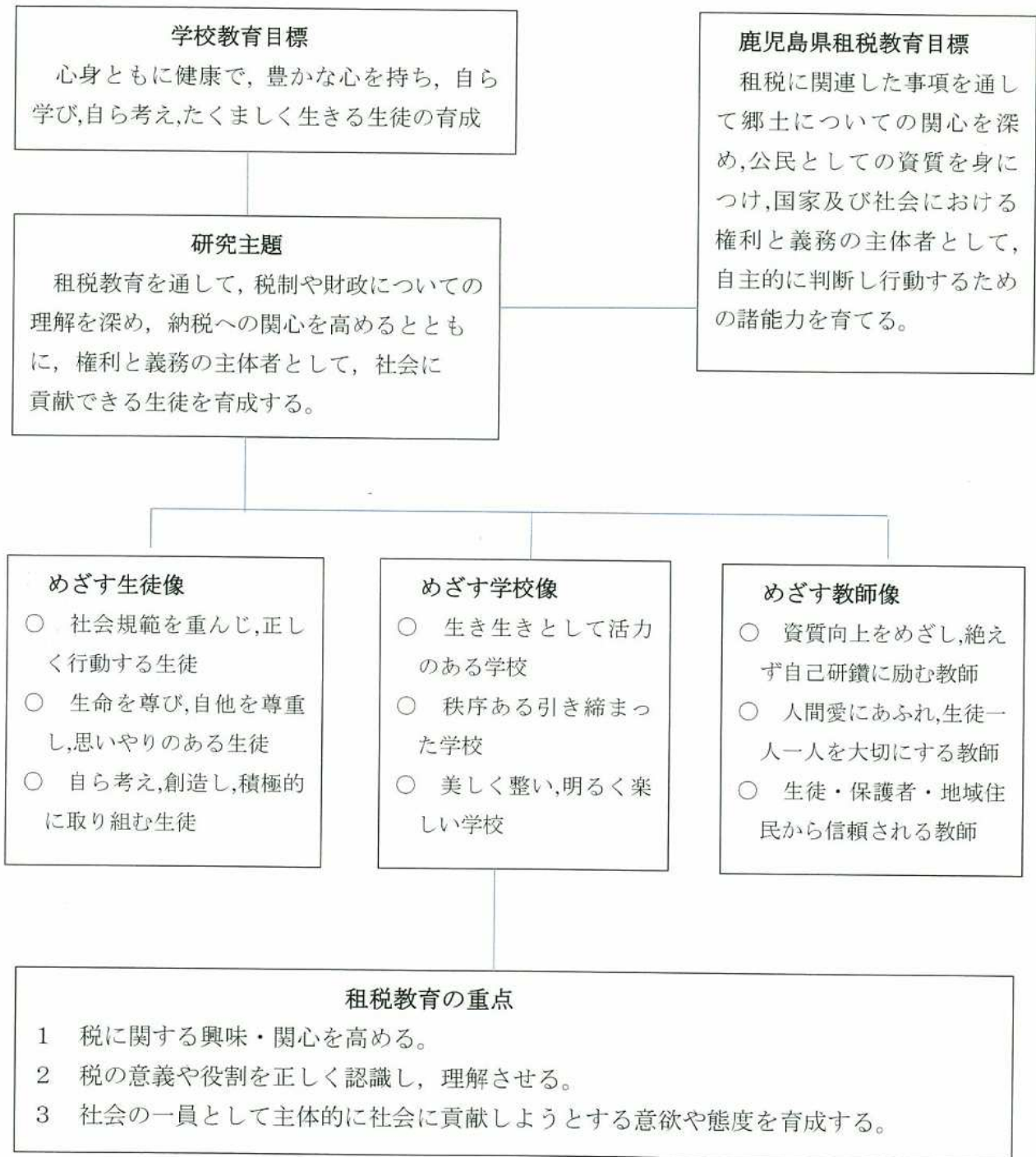
(3) 研究の目標

- ① 税に関する興味・関心を高める。
- ② 税の意義や役割を正しく認識し、理解させる。
- ③ 社会の一員として主体的に社会に貢献しようとする意欲や態度を育成する。

(4) 研究組織



(5) 租税教育の全体計画



(6) 研究の経過

① 1年目（平成30年度）

| 月 | 内 容 |
|----|-----------------------------------|
| 4 | 租税教育研究推進校の委嘱 |
| 5 | 税務署担当と「租税教室」打合せ |
| 6 | 租税教室の実施（3年生） |
| 7 | 夏期休業中の課題 |
| 8 | 「税に関する作文」 「税の標語」 |
| 9 | 「税の作品」出品（国語科） |
| 10 | 租税教室講師養成研修会への参加 |
| 11 | 税務署職員と租税教育実践消耗品購入についての確認 |
| 12 | 租税教育研究会への出會（担当職員）・租税教育実践消耗品購入希望提出 |
| 1 | 1年目のまとめ（研究のまとめの作成） |
| 2 | 1年目のまとめ（研究のまとめの作成） |
| 3 | 1年目のまとめと来年度の活動の検討 |

② 2年目（令和元年度）

| 月 | 内 容 |
|----|---------------------------------|
| 4 | 本年度の計画策定・税に関するアンケート |
| 5 | 租税教室の実施（加治木税務署職員） |
| 6 | 租税教室の実施（財務省九州財務局鹿児島財務事務所職員） |
| 7 | 夏期休業中の課題 |
| 8 | 「税に関する作文」 「税の標語」 「税に関するポスター」 |
| 9 | 税に関するアンケートの集計および分析 |
| 10 | 研究誌の作成 |
| 11 | 「鹿児島県租税教育研究会」での発表 |
| 12 | 租税教育の視点に立った授業 3年社会科「私たちの暮らしと経済」 |
| 1 | 租税教育の広報・掲示 |
| 2 | 2年目の反省とまとめ |
| 3 | 2年目の反省とまとめ |

3 研究の実際

(1) 平成30年度・令和元年度租税教室について

① 加治木税務署職員による租税教室を以下の要領で行った。

1 ねらい

税についての関心や知識を深め、税の負担者としての自覚を持たせる。

2 日時

平成30年 5月29日(火) 5時間目 (14:05～14:55) 3年1組
6時間目 (15:05～15:55) 3年2組

令和元年 5月29日(水) 5時間目 (14:05～14:55) 3年1組
6時間目 (15:05～15:55) 3年2組

3 内容

- (1) 税に関するクイズ
- (2) DVD「アナザワールド」視聴
- (3) 中学生用租税教育教材「わたしたちの生活と税」を用いた講話
・主な税金の種類、税金の使い道など
- (4) 質問やクイズ
- (5) 1億円はどれくらいの重さか持ってみよう。(レプリカによる体験)

平成30年度の租税教室の様子



令和元年度の租税教室の様子



4 生徒の感想

- 税金の大切さや重要さを学ぶことができ、すごくいい経験になりました。私も大人になったら絶対に所得税や住民税をしっかりと払えるように頑張りたいです。10月に消費税が上がるのが嫌だなと思っていたけど、この授業のおかげでわりきることができました。それに8%より10%の方がきりがよくて分かりやすいなと思います。
- 今まで「税」は国のためにあるのかと思っていたけど今日の授業で私たちのためにあるということを知れてよかったです。
- 私たちはまだ消費税しか自分たちで払っていないが大人になるとたくさんの税金を払わないといけないことが分かった。今まではお母さんたちが何を言っているのか全然分からなかったがこれからは税金の話に耳を傾け、少しずつ大人に近づくにつれてしっかり学びたいと思った。私たちが通学してくる道路や学校の校舎、机、イスなど税金でできているのでしっかり大切に使うようにしたいです。
- 僕は日本が1000兆円以上の借金をしていることを改めて知りました。借金が更に増えないように若い人が一生懸命働かないといけないと思いました。そして日本が税金で消防車や救急車の運営をしているのはすごくいいことだと思いました。大人になったらしっかり税金を納めたいと思いました。

② 財務省九州財務局鹿児島財務事務所職員による租税教室を以下の要領で行った。

1 ねらい

- (1) 税に対する興味・関心を高め、税の意義や役割を正しく認識し、理解させる。
- (2) 今後の社会のあり方について、社会の一員として主体的に考え、行動しようとする意欲や態度を育成する。

2 日時 令和元年 6月20日(木) 5～6時間目

3 対象者 菱刈中学校3年生 53名

4 場所 菱刈中学校武道館

5 講師 財務省九州財務局鹿児島財務事務所職員

6 内容

(前半)

- (1) 日本の財政の現状についての話
- (2) 日本の財政を考えよう
- (3) グループワークの説明
- (4) グループワーク

「財務大臣になって予算を作ろう。」

(後半)

- (1) グループワーク
- (2) 各グループによる発表
- (3) 振り返りシート記入 (時間の関係で翌日)

講師の話を聴く様子



班で話し合う様子



班ごとに発表する様子



グループワークシート

グループワークシート 【財務大臣になって予算を作ろう！】

1-3 期

1. 予算案のテーマを決めよう。(例)“高齢者に優しい社会”、“教育の充実” など

観光客をターゲットとした税収の増加！今の生活の現状維持。

2. グループで理想の予算を考えよう。グループで話し合った内容（増減した理由など）をシートに書き込みながら進めてください。

| 増出す予算 | | | 減入予算 | | | | | | |
|---|---|--|--|---|--|-------|--|--|--|
| <p>①-1 社会保険（年金）</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由： 今の高齢者が増えていて、その上か に増やしていかないと困るから。</p> | <p>② 地方への交付金</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由：</p> | <p>③ その他</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>(1) 科学技術研究 <input type="checkbox"/>増減 <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由：</p> | <p>④ 内閣府</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由：</p> | <p>⑤ 教育費</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由： 足らなくて</p> | <p>⑥ その他（防衛、国土、たばこなど）</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由： 今の期に観光客の税収を上げて 赤字を減らそう。</p> | | | | |
| <p>①-2 社会保険（医療）</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由： 高齢の患者と高齢者のいる高齢者が 多くいるから。</p> | <p>③ 公共事業</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由： 景気回復のために道路、橋、河川 や、道路を整備してあげようから。</p> | <p>(2) 農林水産関係 <input type="checkbox"/>増減 <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由：</p> | | | | | | | |
| <p>①-3 社会保険（介護）</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由： 高齢者が増えているから。</p> | <p>④ 教育</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由： 子どもを育てるから。</p> | <p>(3) エネルギー関係 <input type="checkbox"/>増減 <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由：</p> | | | | | | | |
| <p>①-4 社会保険（子ども・子育て）</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由： 足らなくて</p> | <p>⑤ 防衛</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由：</p> | <p>(4) 国際協力 <input type="checkbox"/>増減 <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額</p> <p>理由：</p> | | | | | | | |
| <p>①-5 社会保険（生活保護など）</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由：</p> | <p>集計</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>社会保険</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>1.1%</td> <td>1.5%減</td> </tr> </table> | | 社会保険 | 増減 | 1.1% | 1.5%減 | | | |
| 社会保険 | 増減 | | | | | | | | |
| 1.1% | 1.5%減 | | | | | | | | |
| <p>社会保険 合計</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> | | | <p>⑦ その他</p> <p><input type="checkbox"/>増減（ ）% <input type="checkbox"/>増 <input type="checkbox"/>減 <input type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>減額（ ）%</p> <p>理由： この期に赤字を減らすために、 増やして赤字を減らす。 増やして赤字を減らす。 増やして赤字を減らす。</p> | | | | | | |

①「社会保険 合計」の増減はタブレットの結果をもとにしてください。

グループワークシート【財務大臣になって予算を作ろう！】

1-6 班

1. 予算案のテーマを決めよう。(例)“高齢者に優しい社会”、“教育の充実” など

引きこもりを解消して若者の優しい社会

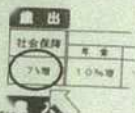
2. グループで理想の予算を考えよう。グループで話し合った内容(増減した理由など)をシートに書き込みながら進めてください。

歳出予算

| | |
|--|---|
| <p>①-1 社会保障(年金)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 高齢者が減るから</p> | <p>② 地方への交付金</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 自治体減るから</p> |
| <p>①-2 社会保障(医療)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 高齢者が増えるから</p> | <p>③ 公共事業</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 学費の削減が必要</p> |
| <p>①-3 社会保障(介護)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 高齢者の増加による</p> | <p>④ 防衛</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 日本の減少</p> |
| <p>①-4 社会保障(子ども・子育て)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 若者が増えるから</p> | <p>⑤ 教育</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 学費の削減</p> |
| <p>①-5 社会保障(生活保護など)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 生活保護の削減</p> | |
| <p>社会保障 合計</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> | |

歳入予算

| |
|--|
| <p>① 所得税</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 高所得者の増え</p> |
| <p>② 消費税</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 今のままでいいから</p> |
| <p>③ 法人税</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 社長が増えるから</p> |
| <p>④ その他の税金(ガソリン・酒・たばこなど)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 健康や環境にあまりよくないから</p> |



グループワークシート【財務大臣になって予算を作ろう！】

1-1 班

1. 予算案のテーマを決めよう。(例)“高齢者に優しい社会”、“教育の充実” など

医療者と介護者をたすめる

2. グループで理想の予算を考えよう。グループで話し合った内容(増減した理由など)をシートに書き込みながら進めてください。

歳出予算

| | |
|--|--|
| <p>①-1 社会保障(年金)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 2年間の生活保護削減のため</p> | <p>② 地方への交付金</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 生活支援が必要だから</p> |
| <p>①-2 社会保障(医療)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 健康に良いから</p> | <p>③ 公共事業</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 必要に応じて工事</p> |
| <p>①-3 社会保障(介護)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 高齢化が進んでいるから</p> | <p>④ 防衛</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 大規模災害の発生</p> |
| <p>①-4 社会保障(子ども・子育て)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 保育園の増加</p> | <p>⑤ 教育</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 教育の削減を減らして</p> |
| <p>①-5 社会保障(生活保護など)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 生活保護の削減</p> | |
| <p>社会保障 合計</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> | |

歳入予算

| |
|---|
| <p>① 所得税</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 1-10%の増徴</p> |
| <p>② 消費税</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 自分たちの生活を守るため</p> |
| <p>③ 法人税</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 新卒に定額給付金を</p> |
| <p>④ その他の税金(ガソリン・酒・たばこなど)</p> <p><input type="checkbox"/>増額()% <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>減額()%</p> <p>理由: 体に悪いものを減らす</p> |



振り返りシートより

☆日本を良くしていくために予算について今後どうすればいいと思いますか。

- ・ 高齢者が増えていくので高齢者に優しい予算案を考える。
- ・ 借金をなくすようにしたらいい。(複数回答)
- ・ 消費税を上げて皆で分担する。(複数回答)
- ・ 借金が減るように無駄をなくしていきながら今の生活が保てるようにしないといけない。
- ・ 子どもをいっぱい作って人口を増やせば、税がいっぱい集まると思います。
- ・ ちゃんと考えて必要な所に必要な分だけの予算を立てる。
- ・ 思い切った国債返済をする。
- ・ 子どもが生き生きと楽しく勉強していくための環境があるといいと思います。借金をしないようにどんどん返済していけるように次の世代ががんばれるように、仕事が楽しいと思える人が増えていくとうれしいです。
- ・ たばこ税を増やせばあまり買わなくなり、癌にもなりにくくなるので一石二鳥である。だからたばこ税を増やせばよい。
- ・ 外国から観光客を呼び込む。
- ・ 自分たちがわざと壊したりしないようにして無駄遣いをなくす。
- ・ 公共の場を正しく使い、整備費を浮かすなど、みんなが心がければ少しは借金も減るんじゃないかと思った。

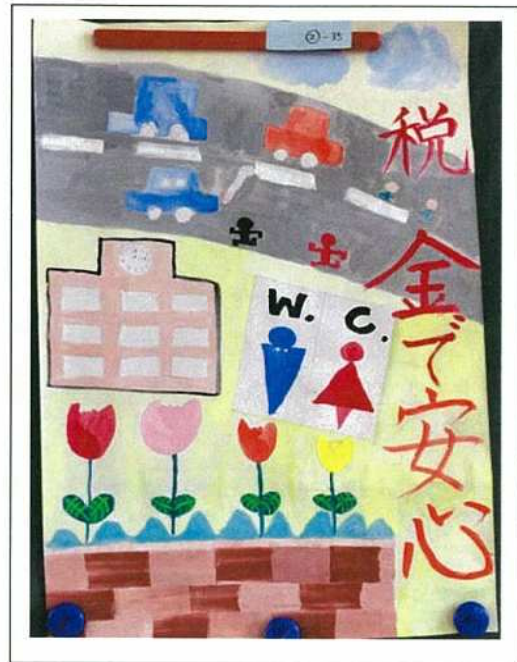
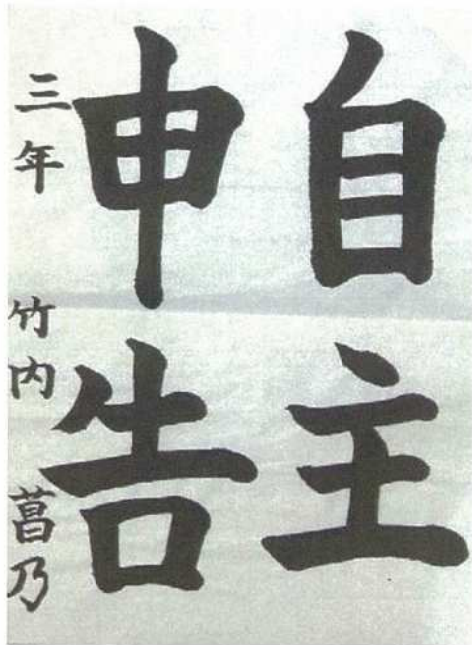
☆この授業で勉強になったことは何ですか。

- ・ 日本が他の国に比べて借金額がすごく多かったこと。
- ・ 税の細かい内容をたくさん知れたことです。
- ・ 税金に関する問題について今までは関係ないと思っていたけどこれからの自分たちの生活に大きく関わることを知りました。
- ・ 税の大切さや話し合いで決めることの難しさがわかった。
- ・ 税にも種類があって、会議で決めるのは簡単じゃなく、しっかり工夫されていることが分かった。
- ・ 税金があるおかげで豊かに暮らしているということを知りました。しっかりと税金を納めていきたいです。

☆授業の中で難しかったことはどんなことですか。

- ・ 税の種類がたくさんあって考えるのが難しかった。
- ・ 財務大臣になって予算を作ってみる活動で国のお金をどう割り当てるか考えるのが難しかった。
- ・ グループ活動で借金を減らしながらテーマに合った税金の使い方をする事。
- ・ 日本の借金を減らすために工夫したけれど、なかなかできなかった。
- ・ 何にいくら使ったらいいかなど考えるのが難しかった。
- ・ 話し合いで意見をまとめたり、決定したりすることや、分かりやすく説明すること。
- ・ 予算案を決めるのが難しかった。
- ・ 予算の振り分けで、今のままでダメだけど変えていいところがよく分からなくてすごく苦戦しました。

(2) 長期休業中の課題や生徒会における取り組み



生徒会新聞

7月10日

近況報告

一定例会
生徒会の本部長が毎週一学期期末テストかあ月曜日に生徒会室に集まりました。もう結果がQ1税は何種類あるか生徒会活動より大きくする。このためは、一年生は、中学③八種類、ため話し合いをします。生に在、その初めのテスト③十一種類、六月は、テストかあ、生に在、その初めのテスト③十一種類、たりの通学よりリッるか、たどしたため、三年生はQ2、次の国のうち一番高ですが、今後、話し合いをテストの感想を思いただた、着実にしていきたいと思いでし、ツが、三年生は、ます。

二生徒会専門部会

六月二十八日(金) 各 次回のテストは、夏休③中国、学校の部長・副部长が各車分明けテストです。夏休④日本、門部ごとに集まり、六月の日の間、予習・復習を⑤韓国、反省と七月の目標の確認、らす前のテストよりも、⑥韓国、条件策の成定を行いました。とまい結果が出るように、⑦韓国、専門部会で決定したことは努力しました。ツ、
次の月の一週目に全校朝会、で生徒会役員が生徒の代表として発表します。

期末テストお疲れ様です

六月二十五・六・七日方が来ました。税務所の方と鹿嶋市の開かれました。如石木の

租税教室

六月 日に租税教室が

Q1税は何種類あるか
①五種類
②八種類
③十一種類
Q2、次の国のうち一番高
④中国
⑤韓国
⑥韓国
⑦韓国
⑧鹿嶋市の税を一番
使、ている項目は、
⑨教育費
⑩土木費
⑪農林水産費
答えは来月号で、

平形 紗愛

「新しい時代」

私のおじいちゃんが救急車で病院へ運ばれたと連絡があり、私たちは病院に向かいました。救急隊員の方が病院の先生へおじいちゃんの状態を説明し、先生や看護師さんがおじいちゃんの痛みが少しでも和らぐように注射や検査をしてくださいました。時計を見ると、真夜中の1時を過ぎていて驚きましたが、時間など1つも気にせずに、命を守るため一生懸命働いている姿に私は感謝の気持ちでいっぱいになったことを覚えています。

中学3年生になり、私は税金について考える機会が増えてきました。救急隊員や病院の先生方の給料はすべて税金からまかなわれていることを知り、改めて私の周りでも暮らしの中でなくてはならない身近なものが税金で成り立っていると思いました。消費税が上がることに最初はあまり納得いきませんでした。なくてはならないものだ気づき、私たちにできることは税金を納めることで国民の生活が豊になり、お年寄りの方や子どもたちの暮らしの支えになります。他にも私が今、当たり前で暮らせているのは環境が整っているおかげでもあります。事件や事故があればすぐに警察がかけつけてくれます。

ごみを収集所まで持っていくと決まった日に収集車が来て運んでくれます。住民票やパスポート発行の手続きも市役所の方が親切にしてくださいます。私の住んでいる地域では消費税・地方消費税率の引き上げに伴い、所得の低い人や3歳未満の子どもがいる子育て世代向けにプレミアム付商品券の販売などを行っています。このようなことすべて税金でまかなわれていて生活をより安心・安全にしてみようと思っています。

私は、身近に祖父のことや租税教室で学んで体験したことで税金の大切さを知り、これから私もたくさん勉強し、社会に出て働くときが来たら、税金をしっかりと納めていきたいと思います。一人一人の意識の高まりによってよりよい未来が開けていくと思います。

私たちの暮らしがみんな平等で幸せに笑顔あふれるように、今自分にできることをしっかりとやっけていき、もっとよりよい社会を創っていきたくたいです。

一般財団法人 日本税務協会会長賞

山口 結愛

「 当 たり 前 」

「うわっ、もったいない。」

「また、新しいのがくるからいいんだよ。」

「そっか、そっか。」

休み時間にチョークを投げて遊んでいるクラスメイト。チョークはあっという間に粉々に砕けてしまった。こっちでは黒板消しに水を含ませて投げ合っている。黒板消しは布がはがれてボロボロになっている。

初めは「ダメだよ。」「やめなよ。」と声をかけていた生徒も、今では見て見ぬふりである。私も、どうせまた補充されるんだから大丈夫だと、それが当たり前だと思うようになっていた。でもやはりそれは間違いだった。

先日、学校で開かれた租税教室で、税は私たちの暮らしに欠かせないものになっていることを学んだ。学校にある机も椅子も、電気も水道も、税金で新しく買い換えたり補修したりすることを聞かされた。

毎年、新しい教科書がもらえるのも当たり前、クーラーが効いた図書館があるのも当たり前、119番に通報したら、消防車や救急車が出動するのも当たり前だとおもっていたけれど、もし、税がなかったら、こんな生活はできなくなるという。当たり前だと思っていたことができなくなるなんて、とても生活しづらくなると思った。

私の妹は赤ちゃんのとき、突然、呼吸困難になって救急車で病院に運ばれた。命を取り留めたのは、救急車がすぐに駆けつけて病院に搬送してくれて、すばやく治療ができたからだ、家族全員が感謝している。

もし、税がなくて消防署が民間の会社だったら、救急車を呼ぶのにはお金がかかり、出動の手続きにも時間がかかり、妹の命は助からなかったかもしれない。

100円のものを買うのに、108円払わなくてはならない。ワンコインで済むところを、消費税なんて面倒くさい。税なんてなくなればいいのにと思っていたが、租税教室で私の考え方は180度変わった。何か事が起こるたびに「これは税が使われているのか。」と意識するようになった。

つい最近も「西日本豪雨」の報道に触れるたびに、復旧のために、あれにもこれにも税が使われているのだと思い知らされた。税のおかげで被災者が徐々に今までと同じ生活を取り戻している。消えかけていた笑顔を取り戻している。税は人々の暮らしに役立っているのだと思うと、まだ自分の力で税を納めてはいない身なので、感謝の気持ちでいっぱいになった。よりよい社会生活を当たり前にするためには税の存在が欠かせないものであることを思い知らされた。

人口減少、高齢化社会と税は様々な難問を抱えているが、将来を担う私たちが、きちんと税を納めて、その有意義な使い道を考えて、当たりの今の生活を支えていきたいと強く決意した。

(3) 人権同和教育係による取組



伊佐市立菱刈中学校

2019（平成31）年 4月 9日（火）

（文責 前田）

人権・同和教育だより ひまわり

1学期の人権同和教育目標…「ありがとう」の声かけで友だちづくりを！

入学・進級おめでとう！

この春、菱刈中学校へ入学した新入生のみなさん、1つ上の学年に進級した2・3年生のみなさん、入学・進級おめでとうございます。

特に1年生は、5つの小学校から集まった新しいメンバーと出会い、新生活をスタートすることになります。友だちのことや、先生方のこと、学校生活のことなど不安や心配な面もあるかもしれませんが、すぐに慣れてくることでしょう。

早く慣れて、安心して学校生活を送って欲しいものです。それでも気になることや悩んでいることがあれば、担任や学年の先生など話しやすい先生に遠慮なく相談して欲しいです。

また校内には、児童生徒支援加配という係の先生もいて、困っている皆さんの相談に乗り、サポートをするようにしています。

学習のこと、友だちのこと、部活動のことなどなど。困ったら気軽に話しかけて、悩みを抱えこまないようにしていきましょう。



ピカピカの教科書が配付されました

新年度、いよいよ学校での授業が始まります。授業といえば、教科書がなくてはなりません。実はこの教科書、無償配付され

ているって知っていましたか？

1947（昭和22）年、日本国憲法が施行されました。その第26条には、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。」と述べられています。授業料は無償（無料）でしたが、教科書は有料でした。

1961（昭和36）年、高知県のある集落の親たちが、それまで有料だった教科書を、我が子や地域の子どもたちのために無料にするための運動として立ち上がり、全国に広がったのです。運動のかいあって、法律が整備されたこともあり、1969年には中学校までの教科書が無料になりました。

世界的にも教科書を無料にしている国は多いようで

すが、「貸し出し」という形をとっている国もあります。

教科書が無料なのは、国民の税金が投入されているからですが、みなさんに一生懸命学習をしてもらい、将来の日本を支える一員としての国民の期待の大きさがうかがえるところです。（教科書の後ろに同様のコメントがあります。探してみてください。）教科書に落書きをしている生徒はいませんよね～。紛失の際は自分でお金を出して買うことになるので、大切に使用してくださいね！（必ず記名しましょう。）

外国語

S（英語）
W（中国語）
O（韓国語）
C（ロシア語）

家庭



(4) 社会科の授業における取組 (学習指導案 3年生公民)

本時の実際 (1/4)

① 主題「私たちの生活と財政」

② 本時の目標

ア さまざまな資料を基に財政と税制のあらましについて理解する。

イ 税金の公平な負担についてさまざまな立場から多面的・多角的に考察し自分の考えを述べる
ことができる。

③ 本時の展開

| 過程 時間 | 学習活動 | 情報提示 | 指導上の留意点 |
|----------|---|---|---|
| 導入 (5分) | 1 租税教室で学んだことを振り返る。 ・ 税が使われているもの ・ 国の借金 2 学習課題を設定する。 持続可能な社会に向けて税の制度はどうあればいいのだろう。 | 租税教室時の写真など 学習プリントを配る。 | クイズ形式に問題を出す。 |
| 展開 (30分) | 3 歳入・歳出の内訳を確認する。 * イラスト A ~ D が歳出のどの項目と関連するか考える。 4 予算についての復習・説明を聴く。 5 「実際の予算は国民生活を考えたものになっているのだろうか？」 * 税金の無駄遣いはないか 6 税金の負担者や種類、納めた税金の行き先を資料から読み取る。 7 主な国の直接税と間接税の比率を比較し、日本の税制の特色をとらえる。 8 「効率・公正」を基に税金の公平性を図るにはどのような課税の方法がいいかグループで話し合う。 9 グループごとに発表する。 | 教科書p 146 資料1 「国の一般会計予算」 教科書p 147 資料2 「国民経済と政府」 教科書p 147 資料3 「主な税金」 教科書p 147 資料4 「主な国の直接税と間接税の比較」 教科書p 147 資料5 | 復興特別税が被災地以外に流用された例などをあげ、主権者として予算に注目していく必要性に気づかせる。 直接税と間接税の税負担感の違いを考えさせる。 机間巡視をする。 |
| 終末 (10分) | 10 教科書を読み重要語句を確認 11 次時の予告を聞く。 12 自己評価カードに記入する | | 大切なところに赤ペンで線を引かせる。 |

④ 評価

ア さまざまな資料を基に財政と税制のあらましについて理解することができたか。(知識・理解)

イ 税金の公平な負担についてさまざまな立場から多面的・多角的に考察し自分の考えを述べる
ことができたか。(思考・判断・表現)

4 研究の成果と課題

(1) アンケート結果の分析（令和元年 6月実施）

1 税について興味関心がありますか。

①ある ②少しある ③あまりない ④全くない

| | | | | |
|------|----|-----|-----|-----|
| 現3年生 | 4% | 58% | 30% | 8% |
| 現2年生 | 8% | 17% | 48% | 27% |

2 税について家庭で話をすることがありますか。

①よくある ②時々ある ③あまりない ④全くない

| | | | | |
|------|----|-----|-----|-----|
| 現3年生 | 4% | 11% | 58% | 27% |
| 現2年生 | 2% | 6% | 55% | 37% |

3 税を納めることについてどう思いますか。

①納めるべき ②仕方なく納める ③納めなくてもよい ④納めない

| | | | | |
|------|-----|-----|----|----|
| 現3年生 | 81% | 19% | 0% | 0% |
| 現2年生 | 40% | 48% | 5% | 7% |

4 税について学習することは必要だと思いますか。

①とても必要 ②必要 ③あまり必要でない ④必要でない

| | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 現3年生 | 32% | 61% | 7% | 0% |
| 現2年生 | 5% | 60% | 25% | 10% |

5 税が私たちの生活に役立っていると感じますか。

①感じる ②少し感じる ③あまり感じない ④感じない

| | | | | |
|------|-----|-----|-----|----|
| 現3年生 | 65% | 35% | 0% | 0% |
| 現2年生 | 42% | 40% | 16% | 2% |

(2) 研究の成果

アンケート内容については租税教育を受けていない2年生と租税教育を2回受けた3年生を対象に実施した。比較すると1の質問では「税に興味がある」と答えた3年生が62%に対して2年生が25%と倍以上の差が見られた。2の質問では「家庭で税についての話をする」と答えた3年生が15%、2年生が8%といずれも低かった。3の質問では3年生全員が「税を納めるべき」と答えたのに対して2年生では否定的な考えの生徒もわずかに見られた。4の質問では「税についての学習することは必要」と感じている3年生がほとんどだが、わずかに必要と思わない生徒も見られた。2年生では必要と答えた生徒が65%だが必要性を感じていない生徒も35%いた。5の質問では3年生全員が「税が私たちの生活に役立っていると感じているが2年生では18%の生徒が役

立っているとは感じていないと答えている。

以上のアンケート結果から、租税教育によって「税への知識や理解を深めることができた。」「将来、税を納めることに対しても積極的な考えを持つ生徒が多くなった。」とことがわかる。また、「日常生活の中で税を意識する発言が増え、節電や節水など税金を無駄に使わないようにしようという生徒の姿も見られるようになってきた。」ことから税への関心も以前より高まってきたと言える。

(3) 今後の課題

租税教育に取り組んだ後でも税について家庭で話題にすることが少ないという結果が出ていることから保護者への啓発運動も充実させることが必要と思われる。またこれで終わりではなく今後も継続して取り組み、国民の三大義務である「納税の義務」を将来もずっとしっかり果たせるように導いていくことが大切である。

5 おわりに

2年間にわたり、租税教育研究委嘱校として「租税教育を通して、税制や財政についての理解を深め、納税への関心を高めるとともに、権利と義務の主体者として、社会に貢献できる生徒を育成する。」を研究主題として取り組んできた。今回の取り組みを通して、生徒が税の役割や重要性に気づき、社会の一員として主体的に行動できる人間に成長してくれることを期待したい。

最後に、このような機会を与えてくださった鹿児島県租税教育推進協議会をはじめ、加治木税務署・関係諸機関の方々に心から厚く御礼申し上げます。